

秋田大学教育文化学部附属小学校

公開研究協議会

2025年12月5日

自律した学習者が育つ 授業デザイン

鹿毛雅治

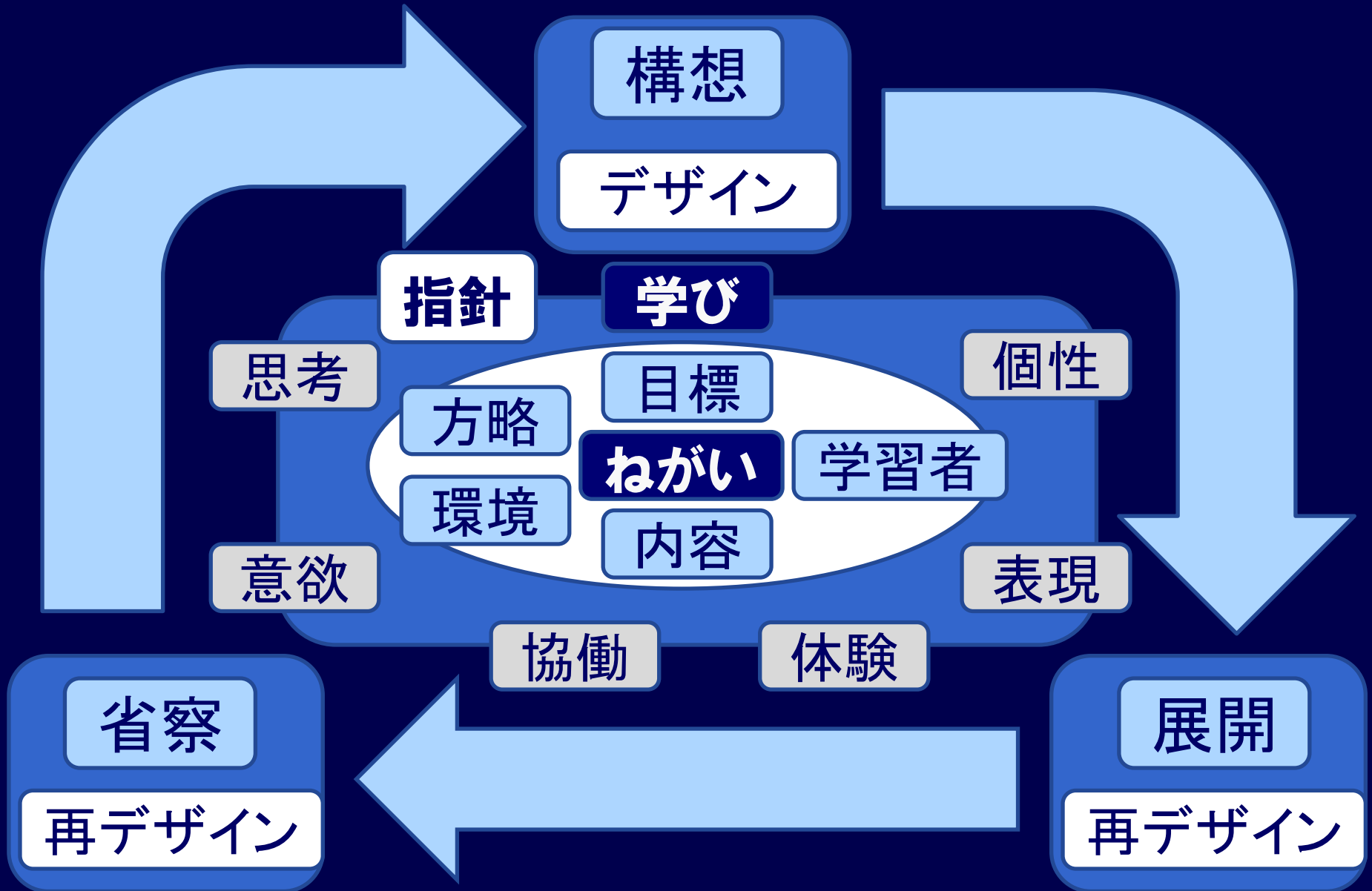
慶應義塾大学

教職課程センター／大学院社会学研究科

学びの場をデザインするための視点



学習環境をデザインする教師



「評価」から「みとり」へ

「徒競走」モデル



順位

点数

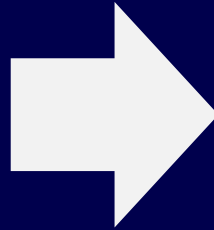
ランク

量的

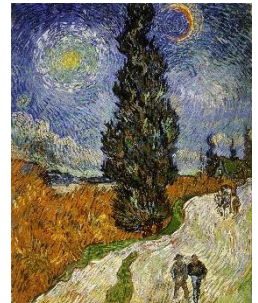
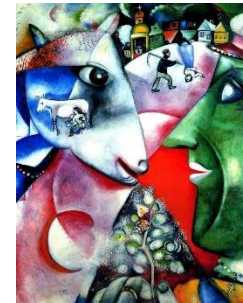
優越感

劣等感

ナンバー・ワンを評価する



「絵画（展覧会）」モデル



持ち味

卓越さ

長短

質的

ひとり十色

自信・自尊心

オンリー・ワンをみとる

子どもの主体的な学びをみとるために

■教師の「居方」: 2つのモード

マインドフル(mindfulness)

現時点で起きている出来事や体験に注意が向けられ、
文脈や展望(perspective)に敏感で、
外的事象を価値判断しようとするのではなく、
新鮮な気づきに対して開かれた柔軟な心理状態
＝「あるがまま」をみる

マインドレス(mindlessness)

固定的なマインドセット(mind-set)にとらわれて
文脈や展望に気づかず、
規則やルーティンに支配された心理状態
＝「固定観念にとらわれ」てみる